

第 40 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	青木ゼミⅡ
チーム名	青木企画
タイトル	日本のコンテンツ産業と地域振興
テーマ群	g) その他
メンバー	◎西田崇彦 佐藤敦史 西坂陽佑 梶原俊明 三木智史 森田直仁 久保龍義 宮川弘樹
研究計画内容	<p>日本経済は長らく不振を極めてきた。特に 2010 年には世界第二位の経済大国の地位を中国に譲ることが確実視されており、全般的な沈滞ムードが漂っている。こうした日本経済の閉塞状況を打破すべく、地域から経済活性化の試みが盛り上がりつつあり、2010 年 10 月に発表された菅政権の成長戦略にもこのテーマが狙上に上っている。</p> <p>わたしたちは、こうした日本の地域活性化を、日本が国際競争力を持つと考えられている「コンテンツ」産業を軸に推進する可能性を調査・分析することを試みる。その内容は概ね次のようである。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 日本の地域経済の現状と課題 現在、日本の地域は低迷しているといわれている。その実情を最初に調査し、各地域の置かれている課題を考察する。2. 地域経済振興策とその経済効果：ケース・スタディ 地域経済振興の事例を幾つか採り上げて調査・考察する。ただし、わたしたちの関心は「コンテンツ」を活用したそれであり、当座、次を検討課題とする。<ul style="list-style-type: none">・ゲゲゲの女房で一躍有名となった水木しげるの漫画キャラクターを活用した米子市の地域振興の実践。・横山光輝の漫画キャラクターを活用した神戸市長田の地域振興の実践。3. 地域振興策：海外の事例と日本への教訓 さまざまなコンテンツを活用した地域振興の事例は海外においても試みられている。ここではそのうち比較的有名な冬ソナ・ブームに便乗した韓国映画村の事例を検討し、その教訓を導く。4. 日本のコンテンツ産業と地域振興：わたしたちの提案 以上のケース・スタディを通じて得られる教訓などを基礎として、できればわたしたちなりのアイデアの提案と実行スケジュールを示したい。

